

写真は語る 南アメリカ・ブラジル・アマゾンの魅力

前筑波大学教授
松本 栄次 著・撮影

オールカラー
B5判・192ページ
写真485点・図表152点
定価：本体3,800円(税別)
ISBN978-4-8176-0364-7 C1025

めまぐるしく変化し、経済発展を遂げる南アメリカ。40年の実地調査を経て、自然環境と産業、人々の生活の変遷に、カラー写真・図表を駆使し、詳細な解説でせまら。

- 【3部構成】
I 南アメリカ その自然と産業
II ブラジル 動き出した南米の大国
III アマゾン 開発と保全の焦点

二宮書店

発刊にあたって

本書は、筆者がこれまでブラジルを中心にその周辺諸国で撮り貯めた3万点にわたる写真から選りすぐったアルバムである。アルバムの整理に当たっては、「南アメリカの自然と生活」としてストーリーを考え、それに沿って写真の選定と配列を行った。各々の写真について、画像から直接読み取れる事象やその背後に潜む事情を説明することに努めた。取り上げた地域は、南アメリカ全体、その中のブラジル、またその中のアマゾン地方(アマゾンニア)というスケールを異にした3地域である。

取り上げた事項は地域情報全般であるが、自然地理的要素に関することの比重がやや大きい。自然地理などという「専門用語ばかり多くてとっつきにくい」と敬遠されがちであるが、あえてそうしたのは、この地域の人々の生活や産業に自然が密接に結びついていること、

推薦のこぼ

40年にわたる実地踏破、見事なカラー写真にて結実！
筑波大学名誉教授 山本 正三

南アメリカとブラジルに関心のある方々に、ぜひ読んでいただきたい。著者は、40年間の長期にわたって実地踏破し観察した南アメリカ、特にブラジルの諸地域の実態を見事なカラー写真に記録した。本書では、自然と人々の生きざまや、営み、産業事情、環境、開発状況などの地域の多様なすがたを、どのような意味をもつかの解説とともに景観写真に映し出している。南アメリカとブラジル、アマゾンの今日の様子と実態が、見る人に強烈な感興をよぶに違いない。特筆に値する好著である。

南米の自然と暮らし、今、鮮やかに甦る！
獨協大学学長 犬井 正

1970年代初頭にブラジルに足を踏み入れて以来、40年間にわたって、松本栄次氏が現地を歩きながら撮りためてきた3万点の写真をベースにして、本書は刊行された。氏は、車とカメラをこよなく愛して、何ん自由ないポルトガル語を駆使しながら、「あるく・みる・きく」を実践し、この『地理写真書』を作り上げた。GPSデータが添えられている本書の写真を目にした人は、きっと、現地に外向いて自身の目にも焼き付けたいと思うに違いない。

この地域の自然についてまとまった形で紹介しているものが少ないこと、また、このような写真主体の形式なら、自然地理の面白さがいささかでもわかってもらえるのではないかという期待があったからである。そのために、必要に応じて模式図や地図を挿入して、理解の助けとなるようにした。

南アメリカにはイグアスの滝やマチュピチュの遺跡などの観光地もあるが、それに劣らず魅力的なアンデス6000m級の山々、世界最大のパンタナル湿原、ブラジル高原に広がるサバナ大平原などの多彩で雄大な自然がある。さらに歴史が刻みこまれた多くの世界文化遺産もちりばめられている。本書によって、実際に行ってみたいという気持ちを抱かれたなら嬉しいかぎりである。



松本 栄次

もくじ

- I 南アメリカ その自然と産業**
- 1 自然と産業
 - 2 地殻変動の激しいアンデス地域
 - 3 古い岩石からなる安定陸塊
 - 4 南アメリカにみる熱帯
 - 5 広大な湿潤熱帯
 - 6 パラエティに富む乾燥帯
 - 7 穏やかな気候の温帯
 - 8 高山地域、高度で変わる自然環境
- II ブラジル 動き出した南米の大国**
- 1 ブラジルのイメージ
 - 2 ダイジェスト版ブラジル地理
 - 3 バイオエタノール先進国ブラジル
 - 4 プームとバーストの産業史
 - 5 現在のもう一つのブーム 大豆栽培
 - 6 水資源でも大国
 - 7 ブラジルの个性的な都市
- III アマゾン 開発と保全の焦点**
- 1 広大な緑のアマゾンニア
 - 2 多彩な水の世界
 - 3 天然ゴムブームの遺跡をたずねて
 - 4 豊かな生態空間、ヴァルゼア地域
 - 5 貧栄養のテラフィルメ地域
 - 6 アマゾン森林の破壊

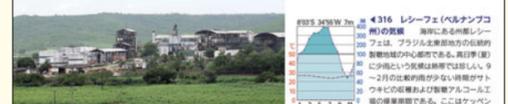
内容見本 p.90~99

II-3 バイオエタノール先進国ブラジル

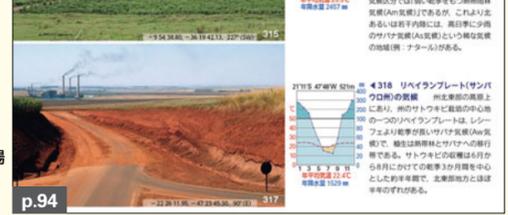
石油危機が事の始まり / サトウキビ栽培地・生産量の飛躍的増加 / エタノール車の歴史 / エタノールの生産 / 世界一のエタノール輸出国 / 国家アルコール計画の功罪

!!!
ブラジルが世界一のエタノール輸出国となるまでの歴史の変遷、最新事情、今後の課題に迫る。

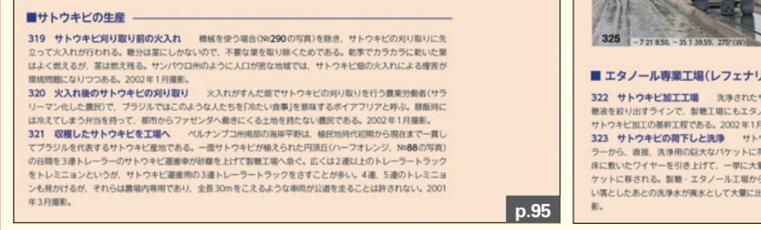
▼サトウキビ畑での火入れ・刈り取り・工場への運搬



p.94



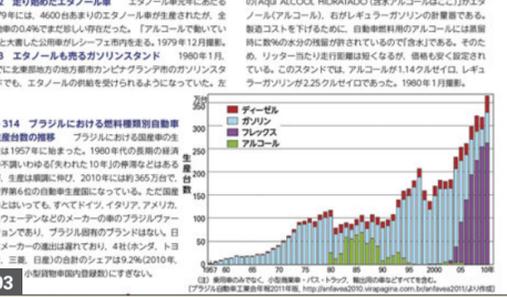
p.94



312 新1次石油危機直後からエタノール車に広がる1979年には、60万台あまりのエタノール車が生産された。全自動車の4%でまだ少ない存在だった。「アルコールで走っている」と大々とした公開車展がシェーア市で開かれた。1979年12月開催。

313 エタノールも走るガソリンスタンド 1980年1月、すでに北東部地方の地方都市カンピナラングア市のガソリンスタンドでも、エタノールの併給を受けられるようになった。左

のAlcool Hidratado(含水アルコール)がエタノール(アルコール)を、右がシェーア市ガソリンの計量機である。製造コストを下げるために、自動車用燃料のアルコールには通常時に数%の水の混入が許されているので含水である。そのため、リッターあたり走行距離は短くなるが、価格も安く設定されている。このスタンドでは、アルコールが1.14リットル、レギュラーガソリンが2.25リットルずつであった。1980年1月開催。

▲エタノール車の普及状況

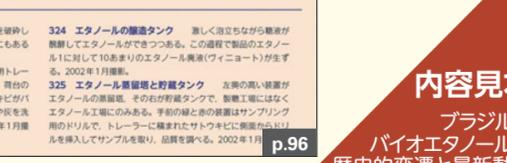
第1次石油危機直後から国家アルコール計画を開始し、サトウキビから自動車燃料としてエタノールを製造し、エタノール車普及に努めてきたバイオエタノール先進国ブラジル。

2003年にガソリンでもエタノールでも動くフレックス車を開発し、登録自動車の95%を占めている。

現地で得た情報に加え、インターネットユーザー数では世界の十指に入るブラジルの豊富なデジタル情報を取り込んで、地域のすがたをリアルに伝える。



◀エタノール専業工場でのサトウキビ加工とエタノール貯蔵



内容見本

ブラジルのバイオエタノールの歴史の変遷と最新動向

写真は語る 南アメリカ・ブラジル・アマゾンの魅力

多彩なカラー写真、充実の資料

1971年より40年の実地調査での3万点におよぶ写真から選りすぐった色鮮やかな地理写真、さらに最新統計を駆使した資料で南米大陸の現況を詳述した。

写真	485点
図版	98点
表	9点
グラフ	45点
合計	637点

掲載した写真に入れた撮影位置情報(緯度・経度・撮影方向)をGoogleEarthやGeoSetterなどのソフトにGPS情報として入力すると、撮影地点を直つて見ることができ、全写真のGPSデータ付きサムネイル画像ファイルは二宮書店のホームページからダウンロードできます。



二宮書店 同時発売 単行本

小農複合経営の地域的展開

B5判上製本・400頁 定価：本体9500円(税別)
山本 正三・田林 明・菊地 俊夫 編著

フィールドワークに基づき、日本の農業を小農複合経営という視点から分析した論文集。日本の小規模農業がいかにして成立し、変化し、持続してきたのかを明らかにする。編著者3人による座談会「小農複合経営の現代的意義」を巻末に収録。

- I 総論
- II 遠隔地・高冷地
1. 阿武隈高原南部における小農複合経営の展開
 2. 九重山北麓飯田高原における土地利用と集落の発展
 3. 長野県菅平高原における集落の発展の一類型
- III 首都圏 (伝統農業)
4. 茨城県出島村下大津における自立型農業経営の地域的性格
 5. 茨城県波崎町松下地区の土地利用と生活形態
 6. 茨城県岩井市における首都圏外縁農村の変貌
- IV 首都圏 (園芸・施設農業)
7. 茨城県筑西市協和地域における小玉スイカ産地の維持要因
 8. 九十九里平野における養液栽培の導入による施設園芸の維持形態
- V 地方都市近郊
9. 常陸太田市における郊外農村の存立基盤
 10. 水戸市における近郊農村の地域性 ―中河内地区を事例として―
- VI 首都近郊
11. 東京都圏内における近郊酪農の複合経営化とその成立基盤の持続性
 12. 東京都小平市におけるルーラルリティの再編と近郊農業の持続性
 13. 東京都練馬区西大泉地区における都市農業の多機能性システム
- 座談会「小農複合経営の現代的意義」

ご注文はお近くの書店へ、または小社へご連絡ください。
〒153-0061 東京都目黒区中目黒5-26-10
Tel. 03-3711-8636 Fax. 03-3711-8639
http://www.ninomiya-shoten.co.jp

二宮書店

